

- **大規模災害に対応できる安否情報提供サービスの試験運用を開始**
- **平成13年8月30日**

独立行政法人通信総合研究所(本所:東京都小金井市貫井北町4-2-1 理事長:飯田尚志)は、大規模災害に対応する、新しい被災者支援安否情報登録検索システムの試験運用を開始します。

<背景>

通信総合研究所非常時通信グループでは、被災者支援安否情報登録検索システム(IAAシステム)を運用しています。しかし、従来のシステムでは、首都圏などの大都市圏で大規模な災害が発生した際に予想される大量のアクセスを迅速に処理できない可能性があり、今回、大規模被災者安否情報登録検索システム(大規模IAAシステム)を開発しました。

<概要および評価実験協力のお願い>

今回、試験運用を開始する新システムは、処理速度が従来のシステムに比べ飛躍的に向上しております。そのため、首都圏など人口の多い地域で災害が起きても、大量のアクセスを迅速に処理できるようになりました。このシステムを9月1日より、以下の期間、試験的に公開します。この期間中、一般の方もインターネット災害訓練として、被災者情報の登録や検索が体験できます。また、大量のアクセスを短時間で処理できるか確認するため、公開耐高負荷実験を行います。特に以下の時間帯に、多くの方に集中的に安否情報の登録や検索を行っていただくことをお願いいたします。

公開期間：平成13年9月1日(土)より 同年9月7日(金)まで

高負荷実験日時

- 1回目:9月3日(月) 正午から午後1時まで(1時間)
- 2回目:9月3日(月) 午後11時から午前0時まで(1時間)

公開実験のURLは以下のとおりです。ここにアクセスすれば、実験に参加できます。

<http://access-trial.CRL-IAA.net/>

<今後>

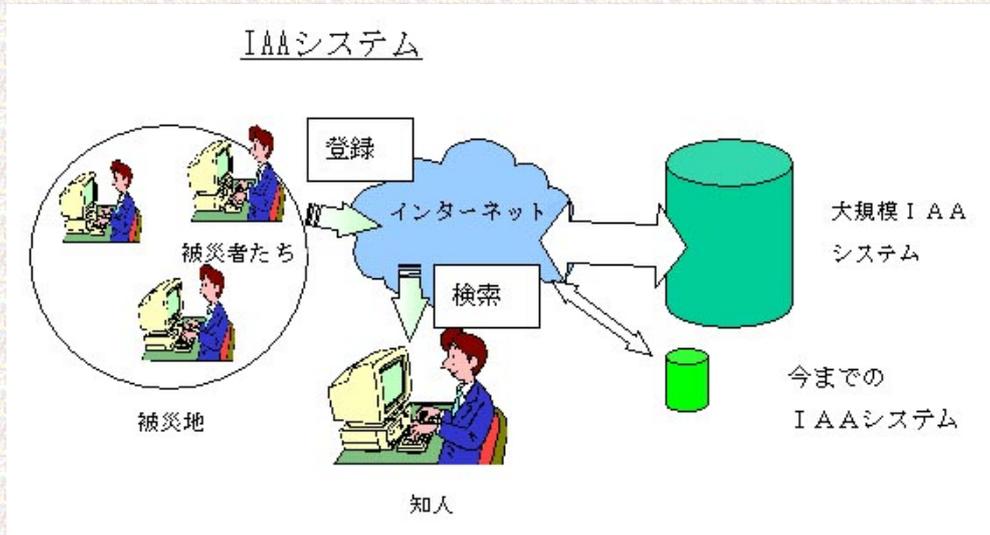
通信総合研究所では、今後も公開耐高負荷実験を通して、IAAシステムが人口密集地域における大規模災害に耐えられる能力をもつシステムであることを実証してゆく予定です。

(お問い合わせ先)

独立行政法人通信総合研究所
情報通信部門 非常時通信グループ
担当:大野浩之、海老名毅
TEL:042-327-5542 FAX:042-327-7941

<補足資料>

IAAシステム:被災者支援安否情報登録検索システム。IAAシステムのIAAは、I Am Alive(私は生きています)という意味です。インターネットを使って被災者の安否情報の登録や検索ができ、電話や携帯電話の直接通話による安否確認に比べ、輻輳(通話が集中して通信ができなくなる)が起きにくく、災害に強いという特徴があります。



※IAAシステムでは、インターネット以外にも、FAXや電話でも登録できます。
(ただし、今回の高負荷実験では利用できません。)